



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3440-6100

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	662	37.9	24		19		23	
2022年3月期第1四半期	1,067	18.8	184		179		138	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 34百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 138百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.47	
2022年3月期第1四半期	14.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	1,662	500	30.1	52.89
2022年3月期	1,794	534	29.8	56.50

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 500百万円 2022年3月期 534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	24.2	90		100		100		10.58
通期	3,500	7.7	220	39.4	200	29.4	150	31.5	15.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	9,456,500 株	2022年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,004 株	2022年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	9,455,496 株	2022年3月期1Q	9,455,496 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大、原材料価格の上昇や世界的な半導体不足等により、景気への影響が懸念され、先行きは依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売、並びにAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高662百万円（前期比37.9%減）、営業損失は24百万円（前年同期は営業利益184百万円）、経常損失は19百万円（前年同期は経常利益179百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は23百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益138百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第1四半期 (連結)	前第1四半期 (連結)	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	C&S事業(*)	236	189	47	25.0%
	サービス事業	405	817	△411	△50.4%
	ECソリューション事業	21	60	△39	△65.0%
		662	1,067	△404	△37.9%
営業損益	C&S事業(*)	28	△15	44	—
	サービス事業	57	275	△218	△79.1%
	ECソリューション事業	△27	4	△31	—
	調整額	△82	△79	△3	—
営業損益	△24	184	△208	—	
経常損益	△19	179	△199	—	
親会社株主に帰属する四半期純損益	△23	138	△162	—	

(*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

前期にプロジェクト損失を計上した反動により増収増益となりました。売上及び営業損益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は236百万円（前年同期比25.0%増）、営業利益は28百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

②サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズや無人精算機向けの決済ソリューションの開発及び販売、並びにマイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス「myVerifist（マイ・ベリフィスト）」及びAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発に注力いたしました。

前期に「Incredist」の大型納品があった反動により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は405百万円（前年同期比50.4%減）、営業利益は57百万円（前年同期比79.1%減）となりました。

③ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

大型案件の開発スケジュールが遅延し、受注損失引当金を計上したため、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は21百万円（前年同期比65.0%減）、営業損失は27百万円（前年同期は営業利益4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ132百万円減少し、1,662百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加（118百万円増）、売掛金及び契約資産の減少（203百万円減）、商品の増加（60百万円増）及び前渡金の減少（86百万円減）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ98百万円減少し、1,161百万円となりました。主な増減要因は、未払消費税等の減少（74百万円減）及び未払法人税等の減少（40百万円減）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ34百万円減少し、500百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（23百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月20日の「2022年3月期 決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,235	794,357
売掛金及び契約資産	460,666	256,922
商品	183,943	244,268
原材料	60,162	49,407
仕掛品	9,891	11,383
前渡金	203,363	116,396
その他	50,762	44,512
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	1,644,023	1,516,248
固定資産		
有形固定資産	58,737	55,913
無形固定資産	9,440	7,578
投資その他の資産	82,424	82,276
固定資産合計	150,603	145,768
資産合計	1,794,626	1,662,017
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,593	90,537
短期借入金	24,822	24,000
1年内償還予定の社債	136,000	136,000
契約負債	261,307	284,098
未払消費税等	83,589	9,458
未払法人税等	47,447	7,254
受注損失引当金	36,900	26,700
製品保証引当金	25,900	29,100
その他	37,286	53,247
流動負債合計	752,847	660,396
固定負債		
長期借入金	353,332	347,332
社債	130,000	130,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	3,500	3,500
固定負債合計	507,536	501,536
負債合計	1,260,383	1,161,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,856,925	△1,880,254
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	542,543	519,214
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,300	△19,130
その他の包括利益累計額合計	△8,300	△19,130
純資産合計	534,243	500,084
負債純資産合計	1,794,626	1,662,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,067,152	662,991
売上原価	705,478	472,971
売上総利益	361,673	190,020
販売費及び一般管理費	176,809	214,151
営業利益又は営業損失(△)	184,863	△24,130
営業外収益		
助成金収入	2,591	-
為替差益	-	6,541
その他	188	139
営業外収益合計	2,780	6,680
営業外費用		
支払利息	5,316	409
支払手数料	1,613	1,625
その他	886	338
営業外費用合計	7,816	2,374
経常利益又は経常損失(△)	179,826	△19,824
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	179,826	△19,824
法人税、住民税及び事業税	41,038	3,504
法人税等合計	41,038	3,504
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138,788	△23,329
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	138,788	△23,329

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138,788	△23,329
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	51	△10,829
その他の包括利益合計	51	△10,829
四半期包括利益	138,840	△34,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,840	△34,158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	189,124	817,151	60,875	1,067,152	-	1,067,152
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への 売上高	189,124	817,151	60,875	1,067,152	-	1,067,152
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	189,124	817,151	60,875	1,067,152	-	1,067,152
セグメント利益 又は損失(△)	△15,275	275,583	4,044	264,352	△79,488	184,863

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
一時点で移転 される財	57,617	263,237	5,861	326,715	-	326,715
一定期間にわ たり移転され る財	178,699	142,129	15,447	336,276	-	336,276
顧客との契約 から生じる収益	236,316	405,366	21,308	662,991	-	662,991
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への 売上高	236,316	405,366	21,308	662,991	-	662,991
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	236,316	405,366	21,308	662,991	-	662,991
セグメント利益 又は損失(△)	28,940	57,531	△27,674	58,798	△82,929	△24,130

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。